

令和4年4月18日

関係各位

九州ハンドボール協会会長 中園 嘉彦  
大分県ハンドボール協会会長 進 義和

**2022年度 第58回 九州一般ハンドボール選手権大会  
兼 第52回 九州女子クラブハンドボール選手権大会  
新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン**

1 大会を開催するにあたって

- (1) 感染状況に応じて（緊急事態宣言や県内の感染拡大など）、大会の急な中止などの対応をすることがある。
- (2) 大会主催者、競技役員、選手など、それぞれの立場で感染防止対策を確認し、関係者全員が感染防止の取り組みを実施し、安全・安心な大会運営を実施する。

2 大会参加者（各チーム・来場者）について

- (1) 新型コロナウイルスに感染症に関し、以下の場合は大会に参加できない。
  - ① 感染が判明し、治癒していない場合。
  - ② 濃厚接触者に特定され、起算日から1週間を経過していない場合。
  - ③ 感染の疑いがこれまでにあり、PCR検査を受け、陰性が確定していない場合。
  - ④ 発熱等の風邪症状や息苦しさ、倦怠感、味覚・嗅覚症状がある場合。
  - ⑤ 保健所から参加を控えるように指示があった場合。
- (2) チーム代表者は下記の様式を記入し、提出をすること。
  - ① 健康チェックシート（個人用：様式1）を大会2週間前～大会前日まで記入し、大会終了2週間後まで各チームが保管。
  - ② 健康チェックシート（チーム用：様式2）を大会期間中1日毎に記入し、チーム代表者が各会場で提出。
  - ③ 制限緩和等により選手・役員以外の来場者がある場合、チーム代表者は体調記録表（様式3）を記入し各会場で提出。
  - ④ 行動履歴表（様式4）は大会で感染者が発生した場合、2週間前からの行動を記入する。様式は各チームで保管しておく。

### 3 感染症対策について

- ① 全ての関係者（競技役員・審判・選手・チーム役員・関係者等）は会場入口で検温を行う。体温が37.5° 以上の場合は入場を断る。
- ② 全ての関係者は館内でマスクを着用すること。（競技中のチームは外していても可）
- ③ こまめな手洗いとアルコールによる手指消毒を実施する。
- ④ 人との距離は1～2m確保し、密を避けるようにする。
- ⑤ 大きな声を出さないようにする。
- ⑥ 前半終了後及び後半終了後に使用したベンチは自チームが消毒をする。  
除菌シートなどの消毒用具は各チームで準備する。
- ⑦ 各チームは2F観客席で観戦することができる。ただし、声を出しての応援は禁止する。
- ⑧ 選手間同士の握手やハイタッチ等は禁止する。
- ⑨ 飲料やタオルは各自で持参し、共有は禁止する。
- ⑩ 更衣場所においても密集を避け、短時間で交代で更衣をする。
- ⑪ 飲食についても周囲と距離をとって対面を避け、会話は控える。

### 4 大会期間中に大会関係者から感染者または濃厚接触者が発生した場合。

- ① 大会中に関係者（役員・審判員・補助員・顧問・選手）から感染者または濃厚接触者が発生した場合は、試合を一時中断し、大会関係者で協議して、該当者または該当チームのみの参加中止か、大会自体の中止かの判断をする。
- ② 大会前及び大会期間中にチームから感染者または濃厚接触者が発生した場合、チーム代表者は大会の参加を再検討し、場合によっては大会の参加を見送る。
- ③ 大会終了後、2週間以内に新型コロナウイルスに感染したことが確認された場合、行政機関（保健所等）の指示に従い行動し、主管者 大分県ハンドボール協会担当あて連絡をする。

（連絡先）

大分県ハンドボール協会 事務局 内海秀昭

電話 090-3197-8416 e-mail oitahand2021@gmail.com